

学生募集戦略検討委員会 総務・企画委員会共催 「学募共同事業」勉強会を開催しました

2019年3月18日(月)に、日本福祉大学東京サテライトにおいて、学生募集戦略検討委員会と総務・企画委員会共催「学募共同事業勉強会」を開催し、12大学20名にご参加いただきました。

冒頭、本協議会 丸山悟会長(日本福祉大学理事長)より、「定員超過抑制の影響で、大学全体としての学生募集は上向いたが、福祉系学部の学生募集は依然厳しいという声も聞く。学生の「数」だけでなく「意欲ある学生」を確保するとともに、高校生に、主体的・探求的な学びができる大学として福祉系大学に目を向けてもらえるような取り組みに力を入れていく必要がある。そのために福経協 学募共同事業でできることを検討していきたい。」との開会挨拶がありました。

続いて、以下の内容で勉強会を進行しました。

【2019年度入試概況報告】

報告：株式会社リクルートマーケティングパートナーズ 飯島隆介 氏

2019年度前期一般入試・センター入試について、国立・公立大学、私立大学(首都圏・東名阪)の概況が報告されました。

全体的な特徴として、定員超過抑制に伴って上位難関大学への出願回避傾向が鮮明となったことや、近年同様、受験生が「学びたい学部学科・専攻」の枠組み以上に「合格できる学部学科・専攻」に志願する傾向が見られたことが示されました。

また「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン(答申)」で、AI、ビッグデータ、Internet of Things (IoT)、Society5.0(超スマート社会)の到来が予見されている中、文理ともに情報系分野の志願者が大幅に伸び、今後の社会変化を反映した進路選択が生まれ始めているのではないかとの見方も示されました。

最後に、このような受験生動向をふまえ、受験生にどんなメッセージを届けたら福祉系大学に進学しようと思うのか、本学の学びの魅力を届けたい高校生はどのような高校生か、そのために打ち出すべきメッセージは何かといった問いを深めていくことが改めて必要である旨が述べられました。

【福経協学募共同事業 次年度計画の実施にあたって】

報告：株式会社リクルートコミュニケーションズ 横地祐人 氏

冒頭、福経協プラットフォームサイトへのアクセス状況について報告がなされました。サイトの立ち上げから約半年経ちましたが、ページビュー数・平均ページ滞在時間ともに堅

調に推移しています。

続いて、第2回総会（1月26日）で確認された次年度の学募共同事業として、Twitter 広告を使った Web 施策が紹介されました。

その後、顕在層（福祉の原体験を持つ層）、潜在層（福祉と親和性のある分野に関心を持つ層）に訴求していくために、どのような分野に関心のある高校生に Twitter 広告を行うか等について、グループに分かれ意見交換を行いました。

最後に閉会挨拶として、本協議会 学生募集戦略検討委員会幹事校である淑徳大学 戸塚法子先生（総合福祉学部長）より、「潜在層を掘り起こすためには、福祉系以外の学部学科の志願者を「福祉もいいね」と振り向かせられる仕掛けを真剣に考えなければいけない。これからの時代は「福祉とは何か」「福祉らしさとは何か」に付与させている意味を一旦壊してイノベーションしていくことが大切であり、そこをわかりやすく打ち出していくことにかかっていると思う。」とのご挨拶をいただきました。

以上、半日の勉強会ではありましたが、今後の取り組みを考える有意義な勉強会となりました。

